

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月11日

上場取引所 東大

上場会社名 乾 汽船 株式会社

コード番号 9113 URL <http://www.inuishop.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 新悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 阿部 健二

TEL 03-3548-3273

四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	13,854		6,101		6,538		3,961	
20年3月期第2四半期	10,713	32.5	4,118	214.7	3,845	216.5	3,685	366.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	134.71	
20年3月期第2四半期	131.18	129.96

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	32,385	22,656	70.0	770.35		
20年3月期	31,118	20,425	65.6	694.49		

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 22,656百万円 20年3月期 20,425百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期				40.00	40.00
21年3月期					
21年3月期(予想)				38.00	38.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,400	4.3	8,450	14.1	8,900	0.2	5,300	26.4	180.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	29,429,335株	20年3月期	29,429,335株
期末自己株式数	21年3月期第2四半期	19,070株	20年3月期	19,070株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	29,410,265株	20年3月期第2四半期	28,090,531株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の詳細に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ[定性的情報・財務諸表等]「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）の世界経済は、米住宅融資問題に端を発した金融・株式市場の混乱が、世界中に波及し、実体経済にも暗雲が広がり景気後退局面に入りました。比較的好調を保っていた中国を始めとした新興国も、信用収縮による影響等により急速に減速し、成長の鈍化が明らかとなっており、景気重視による経済の安定化に軸足を移してきております。日本経済もまた原材料価格高や輸出の鈍化、個人消費・設備投資の低迷等々の悪化要因が重なり、明らかに景気後退局面となりました。

事業を取りまく環境としては、運賃及び用船市況は前四半期に引き続き高水準で推移してはいましたが、8月の北京五輪前後より急速に下落を強め、9月末には半減のレベルとなり、2006年より始まり、右肩上がりであり上昇した後に高レベルを維持してはいた市況が調整局面を迎えました。

当期の為替相場に関しては、第1四半期の平均為替レート101.99円/米ドルより更に円安ドル高傾向で推移し、108.22円/米ドル（前年同期との比較は7.43円/米ドルの円高）となりました。一方、燃料油価格につきましては、原油価格の高騰に連動して高値圏に張り付き、当第2四半期の平均燃料油価格は、US\$645/MTで前年同期に比べ、US\$268/MT上昇し航海採算を圧迫いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間（注：平成20年4月1日～平成20年9月30日）の連結売上高は13,854百万円（前年同期比3,141百万円増加）、営業利益は6,101百万円（前年同期比1,983百万円増加）、経常利益は6,538百万円（前年同期比2,693百万円増加）、四半期純利益は3,961百万円（前年同期比276百万円増加）となりました。

また当第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日～平成20年9月30日）の連結売上高は7,283百万円（前年同期比1,790百万円増加）、営業利益は3,039百万円（前年同期比929百万円増加）、経常利益は2,922百万円（前年同期比1,099百万円増加）、四半期純利益は1,766百万円（前年同期は、期間中に固定資産売却益の計上があり、前年同期比723百万円減少）となりました。

注1）前年同四半期の増減額は参考として記載しております。

注2）平成21年3月期第1四半期に関わる連結経営成績に関する定性的情報については、平成21年3月期第1四半期決算短信（平成20年8月8日開示）をご参照下さい。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債、純資産に関する分析

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,266百万円増加し、32,385百万円となりました。負債は、前期末比964百万円減少し、9,729百万円となりました。純資産は、利益剰余金が2,785百万円増加し、その他有価証券評価差額金459百万円が減少したこと等により前期末比2,231百万円増加の22,656百万円となりました。以上の結果、連結ベースの自己資本比率は70%となりました。

（2）キャッシュ・フローに関する分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は9,913百万円となり、第1四半期連結会計期間末に比べ2,055百万円増加しました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は3,995百万円で、これは主に税金等調整前四半期純利益2,893百万円、減価償却費422百万円、仕入債務の増減額618百万円等の増加及びその他流動負債の増減額146百万円等の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は1,543百万円で、これは主に有形固定資産の取得による支出1,249百万円、投資有価証券の取得による支出290百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は268百万円で、これは主に短期借入金増減額100百万円、長期借入金の返済による支出170百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降の業績につきましては、世界的な金融危機の様相を呈しており、金融市場の混乱が続き、経済が厳しさを増しております状況下、引き続き運賃及び用船市況の下落に伴う調整局面が続くと予想され、同時に荷動きに関しましても実体経済の減速の影響による停滞が懸念されます。当社はこれまで市況の高騰時にあっても、転換期を考慮し下落変動による影響の極小化を図るべく、契約の固定化・安定化の比率を高めるように努めてまいりましたので、市況下落の影響は、従来に比べ限定されてきております。このような状況を踏まえ、現在の市況レベル並びに荷動きの予想を慎重に検討いたしました結果、連結業績につきましては、売上高24,400百万円、営業利益8,450百万円、経常利益8,900百万円、当期純利益5,300百万円と予想しております。

(平成21年3月期連結業績予想)

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
第2四半期累計期間実績	13,854	(13,700)	6,101	(5,800)	6,538	(6,400)	3,961	(3,900)
通期予想	24,400	(26,700)	8,450	(10,400)	8,900	(11,100)	5,300	(6,700)

注：（ ）内は第1四半期決算発表時点に開示した業績予想数値になります。

(平成21年3月期個別業績予想－参考)

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
第2四半期累計期間実績	14,031	(13,900)	5,796	(5,600)	6,270	(6,200)	3,830	(3,800)
通期予想	24,800	(27,000)	8,500	(10,500)	9,000	(11,200)	5,550	(6,900)

注：（ ）内は第1四半期決算発表時点に開示した業績予想数値になります。

なお、第3四半期以降の為替、燃料油価格の予想前提は以下の通りです。

	第3～第4四半期前提 (今回予想) (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)	第3～第4四半期前提 (前回予想 第1四半期発表時) (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)
為替レート (円/1米ドル)	¥100.00	¥100.00
燃料油価格 (US\$/MT)	US\$550.00	US\$750.00

配当金については、昨年度より基本方針として、安定配当と業績連動配当を合わせて、配当性向を当面の間、通期の個別業績の当期純利益の20%を目安とすることに決定し対外発表しております。期初に予想した配当金は38円ですが、今後の通期業績の推移を見つつ、基本方針に従い期末の配当を検討させていただきます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

a. 四半期財務諸表に関する会計基準

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

b. 棚卸資産の評価に関する会計基準

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、主として移動平均法による原価法から、主として移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。なお、この変更による損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結損益計算書
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
海運業収益	
運賃	11,065,439
貸船料	2,769,440
その他海運業収益	8,765
海運業収益合計	13,843,645
海運業費用	
運航費	3,726,985
船費	1,980,801
借船料	1,452,354
その他海運業費用	129,452
海運業費用合計	7,289,594
海運業利益	6,554,051
その他事業収益	11,344
その他事業費用	4,440
その他事業利益	6,904
一般管理費	459,719
営業利益	6,101,236
営業外収益	
受取利息	96,884
受取配当金	35,865
為替差益	321,349
その他	64,795
営業外収益合計	518,894
営業外費用	
支払利息	28,238
有価証券運用損	49,760
その他	3,254
営業外費用合計	81,252
経常利益	6,538,878
特別損失	
前期損益修正損	40,361
投資有価証券評価損	29,992
その他	115
特別損失合計	70,468
税金等調整前四半期純利益	6,468,409
法人税、住民税及び事業税	2,814,967
法人税等調整額	308,494
法人税等合計	2,506,472
四半期純利益	3,961,936

(第2四半期連結会計期間)

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間
(自平成20年7月1日
至平成20年9月30日)

海運業収益	
運賃	5,848,801
貸船料	1,425,317
その他海運業収益	4,637
海運業収益合計	7,278,756
海運業費用	
運航費	2,047,248
船費	1,111,007
借船料	794,972
その他海運業費用	67,178
海運業費用合計	4,020,408
海運業利益	3,258,347
その他事業収益	5,032
その他事業費用	1,905
その他事業利益	3,127
一般管理費	221,572
営業利益	3,039,903
営業外収益	
受取利息	67,498
受取配当金	8,071
船舶燃料受渡差額金	34,398
その他	2,043
営業外収益合計	112,011
営業外費用	
支払利息	13,774
有価証券運用損	101,200
為替差損	113,728
その他	449
営業外費用合計	229,153
経常利益	2,922,761
特別利益	
前期損益修正益	920
特別利益合計	920
特別損失	
投資有価証券評価損	29,992
その他	115
特別損失合計	30,107
税金等調整前四半期純利益	2,893,575
法人税、住民税及び事業税	1,165,078
法人税等調整額	38,245

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(自平成20年7月1日
至平成20年9月30日)

法人税等合計	1,126,833
四半期純利益	1,766,741

(2) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,913,720	8,767,453
海運業未収金	663,699	504,500
有価証券	323,179	184,616
貯蔵品	726,430	532,480
繰延及び前払費用	176,239	265,056
その他	562,478	631,998
貸倒引当金	453	322
流動資産合計	12,365,294	10,885,784
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	11,712,733	12,533,799
その他(純額)	1,743,863	508,566
有形固定資産合計	13,456,596	13,042,365
無形固定資産		
	8,727	10,288
投資その他の資産		
投資有価証券	6,164,803	6,793,388
その他	417,422	414,549
貸倒引当金	27,529	27,530
投資その他の資産合計	6,554,696	7,180,407
固定資産合計	20,020,019	20,233,061
資産合計	32,385,314	31,118,846
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	1,734,678	1,244,248
短期借入金	781,366	879,302
未払法人税等	2,781,686	2,995,266
賞与引当金	28,331	22,274
役員賞与引当金	-	83,000
その他	577,375	890,503
流動負債合計	5,903,438	6,114,594
固定負債		
長期借入金	2,560,154	2,887,421
繰延税金負債	987,202	1,424,630
退職給付引当金	77,361	73,450
特別修繕引当金	140,250	109,250
その他	60,679	84,284
固定負債合計	3,825,646	4,579,036
負債合計	9,729,085	10,693,630

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,351,682	3,351,682
資本剰余金	2,098,314	2,098,314
利益剰余金	16,204,063	13,418,537
自己株式	6,111	6,111
株主資本合計	21,647,949	18,862,423
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	186,986	646,857
繰延ヘッジ損益	37,893	56,748
為替換算調整勘定	859,186	859,186
評価・換算差額等合計	1,008,279	1,562,792
純資産合計	22,656,229	20,425,215
負債純資産合計	32,385,314	31,118,846

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	6,468,409
減価償却費	843,752
貸倒引当金の増減額(は減少)	130
賞与引当金の増減額(は減少)	6,056
特別修繕引当金の増減額(は減少)	31,000
受取利息及び受取配当金	132,749
支払利息	28,238
為替差損益(は益)	313,690
未収消費税等の増減額(は増加)	17,771
たな卸資産の増減額(は増加)	193,949
売上債権の増減額(は増加)	159,035
仕入債務の増減額(は減少)	490,430
その他	111,399
小計	6,974,966
利息及び配当金の受取額	137,552
利息の支払額	28,580
法人税等の支払額	3,028,547
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,055,390
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	1,253,969
投資有価証券の取得による支出	365,718
貸付金の回収による収入	895
その他	6,306
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,625,099
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000
長期借入金の返済による支出	340,675
配当金の支払額	1,172,511
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,613,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	329,162
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,146,267
現金及び現金同等物の期首残高	8,767,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,913,720

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

a．事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）
当社及び連結子会社の営んでいる事業のうち、海運業の売上高及び営業利益の金額は、全体の売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

b．所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (千円)	パナマ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,854,990	-	13,854,990	-	13,854,990
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	176,050	2,372,498	2,548,548	(2,548,548)	-
計	14,031,040	2,372,498	16,403,539	(2,548,548)	13,854,990
営業利益	5,796,282	304,953	6,101,236	-	6,101,236

（注） 営業費用のうち「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

c．海外売上高

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	オセアニア	その他	計
海外売上高（千円）	1,082,040	1,463,737	1,005,415	2,412,819	1,255	5,965,267
連結売上高（千円）	-	-	-	-	-	13,854,990
連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	7.8	10.6	7.3	17.4	0.0	43.1

（注） 1．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2．各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米.....アメリカ、カナダ
- (2) ヨーロッパ.....ドイツ、ノルウェー
- (3) アジア.....韓国、シンガポール、中国
- (4) オセアニア.....オーストラリア、ニュージーランド
- (5) その他.....パナマ、アフリカ

3．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		百分比 (%)
	金額(千円)		
海運業収益		10,702,270	100.0
海運業費用		6,185,097	57.8
海運業利益		4,517,172	42.2
その他事業収益		10,924	0.1
その他事業費用		9,052	0.1
その他事業利益		1,871	0.0
営業総利益		4,519,044	42.2
一般管理費		401,041	3.7
営業利益		4,118,002	38.5
営業外収益			
受取利息及び配当金	102,024		
その他	21,759	123,784	1.1
営業外費用			
支払利息	71,206		
為替換算差損	292,128		
その他	33,033	396,368	3.7
経常利益		3,845,418	35.9
特別利益			
固定資産売却益	2,344,605	2,344,605	21.9
特別損失			
過年度損益修正損	12,003		
その他	19,136	31,139	0.2
税金等調整前中間純利益		6,158,884	57.6
法人税、住民税及び事業税	1,751,816		
法人税等調整額	722,042	2,473,859	23.1
中間純利益		3,685,025	34.4